

令和3年8月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
関西NGO協議会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

探究講座「NGO、国際ボランティア何でも相談」

企画実施概要:

①実施内容

NGO、国際ボランティア、SDGs、ワンフェスforユースなど、個別に何でも相談できるNGO相談員ブースの出展、質問、相談のある高校生が制度を利用した。

②対象者および参加人数

SDGsに関するグローバルな課題についてあらゆる事例を用いて個別具体的に相談対応を行う。なるべく「自分ごと」として探究心や好奇心を持つ生徒を増やした。

高校生:10名

2 出張者氏名

佐野 光平

3 依頼元／主催団体名

大阪府立堺東高等学校

4 実施予定日時

令和3年7月1日 (木)

12:35 ~ 15:25

5 実施場所

〒590-0113 大阪府堺市南区晴美台1-1-2 大阪府立堺東高等学校

6 実施報告

難解な構造的な問題も、川に例えて、川下から川上へをたどっていくことで、根本的な原因や理由を知ることができると分かった。

国際協力NGOの活動の他にJICA青年海外協力隊や政府開発援助(ODA)の活動をすることができた。

グレタさんの動機について詳細を聞いて、「高校生だからできない」という思い込みをしていたと感じた。そして、「高校生だからこそできること」もあるということがとてもよく分かった。

7 写真



NGO、国際ボランティア、SDGs、ワンフェスforユースなどに関するグループ・個別相談対応の様子

(写真1)



NGO相談員ブース設営の様子

(写真2)

以上

令和3年7月9日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名：**生活協同組合コープ自然派兵庫のオンラインセミナーにおける講演
- 企画実施概要：**
- ①実施内容
コープ組合員対象のオンラインセミナーにて、NGO相談員がミャンマーの民主化と軍事クーデター、NGOの取り組み等について話をする。在日ミャンマー人の方にも祖国への想いについて語ってもらう。
 - ②対象者および参加人数
計 30名

2 出張者氏名 坂西 卓郎

3 依頼元／主催団体名 生活協同組合コープ自然派兵庫

4 実施予定日時 令和3年7月9日（金） 13:30～15:30

5 実施場所 生活協同組合コープ自然派兵庫 本部（兵庫県神戸市）

6 実施報告
コロナ禍対応でオンラインで講演を実施。相談員がコープ組合員に対して、ミャンマー情勢に関する現状説明を行った。軍事クーデターまでの経緯や民族間の問題、日本にいる私たちにできる支援は何か、という視点で話を進めた。

【参加者の感想】

- ①メディアでミャンマーの報道を耳にしたり読んだりするたび、自分に何ができるのだろうかと思ってきました。正しい情報を知り、伝えることの大切さを改めて感じました。
- ②ミャンマーのリアルな現状や歴史的背景、民族間の問題を知ることができました。これからも動きを見守り、支援の仕方にも気をつけていきたいです。
- ③現地の方の声を生で聞いたのはよかった。ミャンマーへの関心をより持てたので、自分からどんどん知っていきたい。

7 写真

	
NGO相談員の紹介とミャンマーの現況に関する説明の様子（会場）	オンライン参加者たちとの質疑応答の時間（Zoom）

（写真1）

（写真2）

以上

令和3年7月12日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

兵庫県立大学看護学研究科修士課程「災害看護と地域看護」での講演

企画実施概要:

①実施内容

災害看護と地域看護について学ぶ大学院生及び研究者を対象に、日本における難民支援について国際協力NGOの立場からお話します。

②対象者および参加人数

看護学研究科修士課程1名、博士課程1名

2 出張者氏名

坂西 卓郎

3 依頼元／主催団体名

兵庫県立大学看護学研究科

4 実施予定日時

令和3年7月12日 (月)

13:00-14:30

5 実施場所

兵庫県立大学明石看護キャンパス
(兵庫県明石市)

6 実施報告

災害看護と地域看護について学ぶ大学院生に「日本における難民支援」についてNGOの視点から講演を行い、その後、ディスカッションを行った。

企画段階では対面形式で講演を実施予定であったが、直前でオンライン形式に変更となった。

参加者からの感想は以下の通りである。

- ・日本の難民支援における課題を理解した。国際的な認定基準との違いを学んだ。
- ・難民認定においては課題があることを理解したが、同時に受け入れた後に混乱したケースも学んだことがあるので、そのバランスが重要だと感じた。
- ・以前に関わった難民申請者のことを思い出した。今後も情報を追っていきたい。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

「総合的な探究の時間」夢チャレンジ

企画実施概要:

①実施内容

当会職員が授業に参加し、子ども兵の課題やアフリカ地域におけるコロナ禍の現状、ウガンダで実施しているN連の事業内容や外務省やJICA、NGOの取り組みの紹介を行った。

②対象者および参加人数

大阪府立堺東高校2年生 1コマ目34名 2コマ目20名 計54名

2 出張者氏名

栗田佳典

3 依頼元／主催団体名

大阪府立堺東高等学校

4 実施予定日時

令和3年7月1日 (木)

13:00 ~ 15:30

5 実施場所

大阪府立堺東高等学校(大阪府堺市))

6 実施報告

13:00 から前半34名、後半20名の高校生に対して、コロナ禍における海外情勢や外務省、NGOの取り組みの紹介、コンゴを事例に武装勢力の現状と私たちの生活のつながりについて解説をした。

聴講した生徒からは「世界の課題に対する日本の取り組みがわかった」「紛争の原因が先進国にあることを知らなかった」「同じ人間なのに、世界ではこんなにも生活が異なるのかと実感した」「今の自分にできることを考えたい」「もっとコンゴで起きている武装勢力や、女性に対する性的暴行の現状をたくさんの人に知ってほしい」

また、「自分たちが今生きている平和な毎日は当たり前ものではないと気付いたので、これからの日々を大切にしていこうと思った。」というコメントもあった。

7 写真



1コマ目の授業の様子。2年生34名が熱心に耳を傾けた



2コマ目の授業の様子。2年生20名が熱心に耳を傾けた

(写真1)

(写真2)

以上

令和3年8月1日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
テラ・ルネッサンス

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

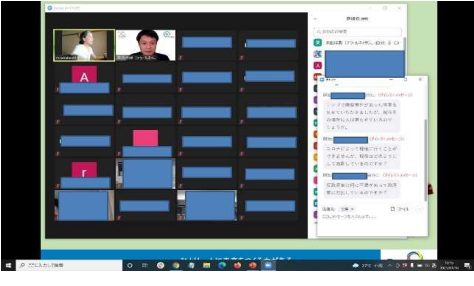
記

1 企画名および企画概要

- 企画名： 神戸女学院ボランティア論
- 企画実施概要： ①実施内容
アフリカの子ども兵の問題と私たちの日常の生活をつなげ、世界の課題にどのように向き合うべきか、SDGsの視点を通じて学生に講義をする。
- ②対象者および参加人数
神戸女学院大学 ボランティア論受講者68名

- 2 出張者氏名 栗田佳典
- 3 依頼元／主催団体名 神戸女学院非常勤講師：高橋美和子
- 4 実施予定日時 令和3年7月16日（金） 09:00 ～ 10:30
- 5 実施場所 オンライン
- 6 実施報告 9:00 からオンラインで68名の学生を対象に60分解説の後、30分質疑応答を行った。子ども兵をはじめとした子どもの人権についての啓発と世界の課題に対する官民の取り組みの紹介した。
- 聴講した生徒からは「子供兵について全く知らなかったもので、今回の講演で知識を深めることができて良かった」「日々大学に通い何気なく19年間平和に暮らしているとき世界のどこかでは子ども兵としてつらい思いをし、死を目の前にしている人もいるということを念頭に置いて物事を考えたり様々な取り組み、募金など今の私たちにできることを考えたいと強く感じた」
- 「今回の講義を通して、コンゴやウガンダと日本のつながりや共通点などにも意識して過ごしたいなと思った。」というコメントもあった。

7 写真

	
講演中の様子	質疑応答の様子

(写真1)

(写真2)

以上

団体名

特定非営利活動法人
テラ・ルネッサンス

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 京都消団連主催学習会

企画実施概要： ①実施内容
世界で起きている紛争・戦争、それに伴い起きている事、難民や移民問題などを解説し、理解を深める。

②対象者および参加人数
関西の大学生 20名と主催団体関係者1名

2 出張者氏名 島彰宏

3 依頼元／主催団体名 特定非営利活動法人コンシューマーズ京都

4 実施予定日時 令和3年7月23日 (金) 18:00 ~ 19:15

5 実施場所 オンライン

6 実施報告 18:00 からオンラインで20名の学生を対象に40分解説、15分ワークショップ、10分質疑応答を行った。世界で起きている紛争・戦争、それに伴い起きている事、難民や移民問題などを解説し、理解を深めるための解説を行った。具体的には、コンゴやウガンダなどのアフリカについての紹介となった。

短い時間ではあったものの、参加した学生たちから積極的に意見が飛び交い、世界で起きていることを知る大切さと世界の現状に対して、自身にできることを考え、実践することの大切さを学ぶ機会となったとコメントをいただいた。

7 写真

	
講演中(グループワーク)の様子	参加者全体の写真

(写真1)

(写真2)

以上

令和3年8月5日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
ピースウィンズ・ジャパン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** 島根大学における講義
- 企画実施概要:** ①実施内容
島根大学 Global Challengeの授業において、難民支援・NGOの活動・登壇者のキャリア等について講義を行う。
- ②対象者および参加人数
Global Challengeの授業を受ける学生1,2年生、合計30名

2 出張者氏名 安間叙通

3 依頼元／主催団体名 特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン

4 実施予定日時 令和3年7月7日(水) 16:30-18:30

5 実施場所 オンライン

6 実施報告

JICA中国の島根国際協力推進員と連携し、島根大学Global Challengeにて当団体の活動やスタッフのキャリア・経験に関して講義を実施した。コロナ禍ということもあり授業はオンラインにて実施し、国際協力推進員(JICA中国)・NGOスタッフ(PWJ)の経験について話したのち、教授を交えたパネルディスカッションおよび質疑応答という形式を取った。

今回は地方に住みあまり海外・国際協力になじみのない学生に対しての講義ではあったが、質疑応答では多くの質問に回答をすることになった。海外の生活についての質問から、実際に海外で活動し異国文化の人たちと話す時に気を付けている事など、とても具体的な質問も頂いた。また、活動だけではなく、登壇者のキャリアの中での留学・休学などに関して、どのように資金をやりくりしていたのかなど、学生だからこそ気になる質問なども出ていた。

今回コロナ禍によりOnlineにて講義を実施することになっているが、学生たちは今までのように実際に海外に行き現場を見ることができない、人に会いに行き話を聞けない、という状態の一方、どこにいてもOnlineで話を聞き学びを得られることがわかる良い機会となった。

7 写真

(写真1)	(写真2)	(写真3)
		
講義の様子①	講義の様子②	講義の様子③

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 広島文化学園大学における講義

企画実施概要： ①実施内容
広島文化学園大学において、国際協力、難民支援等の実情と課題について講義を行う。
②対象者および参加人数
大学共通科目(教養科目)「日本国際社会」の授業時間において文芸学部子ども学科及び音楽学科の3年次生、18名。

2 出張者氏名 安間叙通

3 依頼元／主催団体名 広島文化学園大学 文芸学部 里村生英(非常勤講師)

4 実施予定日時 令和3年7月14日(水) 13時05分～14時35分

5 実施場所 広島文化学園大学(住所: 広島県広島市安佐南区長東西3-5-1)

6 実施報告
広島文化学園大学の「日本国際社会」の1コマにて、あまり海外と接点がない文芸学部子ども学科及び音楽学科の生徒に対して講義を実施した。今回のテーマはあまり一般の人でも関わりの少ない「難民」と「災害支援」をテーマにして、スタッフの現場経験をもとにNGOの活動の現場に関して話をした。
写真や動画を多く用いて実際の現場を見てもらうことで、日本とは違う・普段の暮らしとは違う世界をイメージしてもらうことが出来た。バングラデシュのロヒンギャ難民キャンプにおける母子保健の事業に関して説明した際には、子どもが約半数を占めている現状、また多くの子どもが生まれている現状に対して、教育に対して問題があるのではないかという鋭い質問が出てくるなど、講義の内容を聞いて自分なりの考えをまとめて質問する学生もいた。
授業終了後の感想の中では、これまで海外に関心を持つことはなかったが、今回の講義を聞いて海外に行ってみようと思った、などと、学生に対して新しい一歩を踏み出すきっかけになる講義ができたと感じている。

7 写真

(写真1)	(写真2)
	
講義の様子①	講義の様子②

以上

令和3年8月5日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
えひめグローバルネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名： 松山短期大学
- 企画実施概要： ①実施内容
「国際協力に関する理解を深める」をテーマに、国際協力に関する仕事や、NGOの取り組み等について講演した。ODA事業やNGO、国際機関などについて紹介し、国際理解のワークショップを行った。また、講演者のJICA海外協力隊経験に基づいて、異文化理解や途上国の実態などを紹介した。
- ②対象者および参加人数
短期大学生12名、教員2名

2 出張者氏名 細川由衣

3 依頼元／主催団体名 松山短期大学

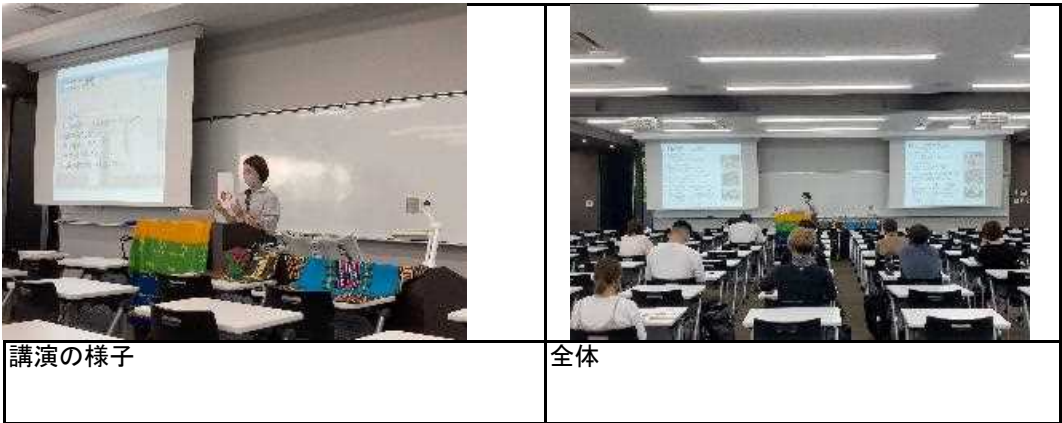
4 実施予定日時 令和3年7月13日 (火) 18:00 ～ 19:30

5 実施場所 松山短期大学(松山市文京町4-2)

6 実施報告 国際協力に関する授業はないとのことだが、学生の国際理解の深まり、興味関心の向上に貢献できたと感じた。以下は学生び感想である。

- ・国際協力に関わる仕事は、他国の人とも交流ができ、なおかつ人の役に立てる素晴らしい仕事だと感じた。
- ・今回の話を聞いて、これからはもっと日本だけでなく海外にも目を向けて、ボランティア活動などにも積極的に参加していきたい。
- ・海外にはそれぞれ文化・風習・しきたり・決まり事など、日本にはない、考えたこともないようなことがたくさんあると思った。自分は海外に行く予定はないが、調べることによっていろいろ外国のことを知ってみたいと思った。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

令和3年8月5日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
NGO福岡ネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** JICA九州国際協力員会議における広報及びネットワーキング活動
- 企画実施概要:** ①実施内容:九州各県からJICA国際協力推進員が集まって行われる会議において発表の時間をいただき、NGO相談事業の紹介等を行い、今後の協働の機会を模索する。
- ②対象者および参加人数: JICA国際協力推進員、青年海外協力隊相談役、JICA職員 計22名

2 出張者氏名 松崎浩平

3 依頼元／主催団体名 JICA九州

4 実施予定日時 令和3年7月1日 (木) 14:00 ~15:00

5 実施場所 JICA九州センター大会議室(福岡県北九州市八幡東区平野2-2-1)

6 実施報告 当日はFUNNの団体紹介に始まり、その上で「外務省NGO相談員」事業の紹介をさせていただきました。一般市民からの海外ボランティアやNGO団体の組織支援としての相談サービスや学校の授業や企業の社内研修での「出張サービス」事例を紹介。最後に各県の推進員に担当の地域でNGO相談員の紹介や出張サービスの活用をお願いしました。各県の推進員からは「あまり知らなかったのでぜひ紹介したい」という声や「制度を活用して一緒に活動したい」というご意見を頂きました。

7 写真



NGO相談員制度紹介の様子

(写真1)



当日は会場とオンラインから参加がありました。

(写真2)

以上

2021年7月28日

団体名

特定非営利活動法人
沖縄NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 沖縄県内でできるNGO活動って？

企画実施概要： ①実施内容 NGOの活動と県内でのNGO活動について紹介したのち、
学生が事前に用意した質問に答えながら国際協力をテーマにオンライン
②対象者および参加人数 県内看護学生（国際看護演習、国際看護と災
害看護の科目内にて）3年生24名

2 出張者氏名

佐々木綾菜、新膳朋子
オンライン講座のため、操作補佐として2名で出張サービスします。

3 依頼元／主催団体名

学校法人湘中央学園浦添看護学校

4 実施予定日時

2021年7月1日（木） 10：20～11：50
2021年7月1日（木） 14：20～15：50

5 実施場所

オンライン会議システムZoom

6 実施報告

・NPOとNGOの違いについてまったく知らなかったけど、言葉の意味や歴史を知った。
また、地域と繋がるNPOは医療や福祉の現場との連携も大切だと思った。

・もしも災害が起こって海外からの観光客や沖縄に住んでいる外国人と出会った時、文化や言葉の違いでもっと困っているかもしれないから相手の立場に立ってやさしい気持ちでコミュニケーションをとったり、安心できる場をつくりたいと思った。

・（担当教員より）国際協力というテーマに加えて、NPOや地域に暮らす外国人など広い視点でお話をしてくださったので、遠い国や人の話ではなく、私たちの身近にある課題や問題にも活かせる内容で学生も大きな学びになったと思います。

7 写真

	(写真2)
オンラインの機器操作専用のPCと、画面共有等での資料共有専用のPCの2台で実施。人員も2名配置し、入室できないなどのトラブルに柔軟に対応することができた。	

(写真1)

(写真2)

以上

2021年7月28日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
沖縄NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：

知ろう！世界の課題とNGO

企画実施概要：

①実施内容 NGOの活動について紹介したのち、プラスチックごみをテーマに世界の取り組みを学習し、自分には何ができるか考える。

②対象者および参加人数 中学校1～3年次
全25クラス約800名

2 出張者氏名

新膳朋子・外山岩郎

3 依頼元／主催団体名

南風原町立南風原中学校

4 実施予定日時

2021年7月6日（火） 14:50 ～ 15:40

5 実施場所

南風原町立南風原中学校（住所：沖縄県島尻郡南風原町兼城780）

6 実施報告

・自分たちがいつも使っているものに、プラスチックがたくさん使われていてびっくりした。

・クイズが楽しくて時間があっという間に過ぎた。知らなかったことを知れた。

・世界でも沖縄でも同世代の人がいろいろな活動をしていてすごいと思った。

7 写真



視聴覚室から遠隔授業

（写真1）



25クラス同時進行だったが、6つのクラスに意見の発表をしてもらった

（写真2）

以上